

【「めんどくさいFX検証」を誰でも
自然にできるちょっとした工夫とは？】

⇒編集後記で

どうもゆうです。

さて、この前ですが熊本さんのセミナーなんかも
ありましたが、

あの「検証した統計データ」ってのは結構
わかる人はわかったと思いますが驚いたと思います。

あれがシステムトレードっていうもので

あれはバックの統計データをFXで10億円っていうか
数十億円稼いでる Mr.T さんなんか

PC ずっと稼働させて統計データ取り捲ってるんだけど
そのロジックや証券会社ごとのデータだけじゃなくて
時間帯ごとの勝率データまであって

わかる人はわかると思いますがそこまで徹底検証していて
びびったと思います。

またこれは熊本さんだけじゃなくて
以前扱った 素晴らしいトレーダーの野田さんも
山之内さんも、

そして根崎さんも、オーリーさんも、

まあお金持ちたちは呪文のように

「検証が大事」って言うと思いますよね。

だから読者さんもきっと

「検証が大事」って考え方は知識としては知っていると

思います。

んが・・・人間ってのは怠惰なもので

「知っててもそのめんどくさい検証ができない」

ってのが最大の問題なんです。

たぶんだけど読者さんの中でも

「検証は大事なのはわかってるけどさ、

できないんだよね」

って人は多いかな？と思います。

ただこれは勉強すればいいってわかっていても

人間、勉強できないわけですが

それと同じで「ちょっとした工夫」で検証って
自然に苦なく、誰でもできるようになる、んです。

検証できたら徐々に稼げるようになるのだから
すなわち本当はノウハウよりこういう知識が

大事かなと。

編集後記で！

=====**編集後記**=====

さてさて、ここ最近いろいろなお金持ち投資家やビジネスマンの

案件を扱いますが、

結局・・・「みんな言うことは一緒」で

「検証しましょう」という話になってるのに

気づいてる人は多いのではないのでしょうか??

お金持ちたちという共通した言葉、それが

「検証しましょう」ですよ。

ちなみに私の分析では

投資系の金持ちは日本語の 検証 っていう言葉をよく

使いますし、

ビジネス系の金持ちたちは テスト っていう言葉を

よく使いますね。

けど検証とテストって同じようなものなので

結局金持ちの言ってることは同じなのであります。

だから検証もしくはテストといってもいいけど

それをたくさんやった人が金持ちになっている

というのが今の状況ですよ。

そしてもっと言うと日本ではその 検証やテストを

たくさんやって がんばって貧乏から富裕層になった

立派な人たちを 国家が 検察や警察や国税を使って

金持ちつぶしをしている、

という状況で、これが私の日本の俯瞰のひとつです。

韓国やマレーシアみたいな成長してる国では

そういう新しい若い金持ちたちが活躍するのが大事だと

考えるから

そういうことはまずしないんだけど

日本では金持ちつぶしというのが加速している。

平等主義を目指す共産主義の考え方が背後にあるんですけどね

やはりこれは考えさせられる。

ただそんな中でもなんとか稼いでなんとか
貧乏な中から這い上がってくるカネもちたちが
いるわけで

国にいじめられながらも、なんとか資産を築いている。

それで

大体30代~40代なんだけど彼ら貧乏から這い上がった

新興富裕層がいう共通点が

「検証（テスト）しましょう」です。

彼らのこの厳しい経済に立ち向かう姿勢だけが

民衆が這い上がる道を示しているとも思います。

それで多くの読者さんがきっと

「検証（テスト）しましょう」

っていう言葉を聴いて

「いや、それ腐るほど聞いたよ、わかってるから。

けどできねーんだよ」

と、思うはずなんです。

というのはメルマガ書いてるとなんとなく

そんな雰囲気を感じるからです。

よくメールとか熱心な読者さんにいただくのですが

検証のことを書かれてる方って比率はすごい少なくて

やっぱり新たなノウハウ探してる人が多いんですよね。

もちろんノウハウも大事だけど

けど事実新興富裕層はノウハウよりは

「検証（テスト）しましょう」を重視してるわけです。

それでこれは 夏休みの宿題と同じようなもので

多くの小学生たちは

夏休みの宿題は 7月くらいからコツコツやって

8月30日くらいになってあせりだして

やりだすわけです。

これ人間。怠惰なものです。 ちなみに私ゆうは

そういうタイプでしたのでこれがすごいわかります。

共感できる。

怠惰なのが人間である。

それで私ゆうはどうしようもない人間で

かなり怠惰な人間で、それは自覚してるんだけど

ただそれでも昔「検証（テスト）ちゃんとしないと

財を成せない」ってきずいて

自分の「怠惰」に向き合ったことがあったんだけど

そこで

「怠惰な自分でもどうやったら検証（テスト）できるかな」

とよく考えていて試行錯誤したことがあります。

今日はそんな中で、私が「これだ」と思った

「怠惰な人でも めんどくさ〜い検証を苦なく行える方法」

を、書きます。

わたしが日常的に数年間やってることですね。

んで、多くの人がFXとか株なりの投資塾に入って

講師さんに言われます、

「検証しましょう！」と。

けど、できない。

普通は100人いて10人くらいは検証しても

90人は検証しないわけですね。

これが無料の案件になると検証する人は

100人いて1人とかになります。

それくらいみんな検証しないものです。

ただこれはすごいわかるわけでした

検証 = 結構つまらない作業なんですね。

その中に楽しみを見出すという方法もあるけど

これもちょっとした才能がいると思います。

だからみんなつまらないことはしたくないですから

アドレナリンが脳みそから出ないことはしないですから

だから検証しないんですね。

そこでじゃあ検証を 日常にする方法は??

というのが実は一番大事で お金に直結するところ

なんです。

それで私ゆうも 「検証100回やってください」

とか言われても

「いやできないし」という感じだったんだけど

ただ「なんでできないか？」考えたのだけど

それはやっぱりめんどくさいから。

けど、ここで気づいたのですが

「あ、それであれば ちょっとずつでいいから、

毎回トレードする前に10回検証すればいいじゃん、

それで10トレードしたら簡単に100回検証できるじゃん」

って気づいたんですね。

実はこれすごいよい考え方でいまだに生きてる考え方です。

んで、これはFXで言えば4時間足とか日足でやっている人

じゃないとできない話かもしれないんですが

(15分足とかだと検証してる間に形状変わるので)

4時間足とか日足でやる人ってのはこの

「毎回トレードのたびに、直近チャートで10回は検証して

確率優位性を10回でもいいから確認して

トレードする」

ってのを日常にいれていくといいんですね。

これは普段 検証できないグータラな人でも

できます。

というのは、トレードするときってのはやはりリアル資金が

かかっているから

ある程度脳みそにアドレナリン出てる状態なわけで

それでそこで「100回検証してトレードしてください、といわれても
できないけど」

「エントリーする前に10回検証してください」

くらいだったら数分なので多くの人にはできるんです。

特に検証することでそのトレードの勝ち確率があがって

負けの確率が下がるなら10回くらいならやれるんです。

だから今まで検証しないでトレードしてた人がいるとすれば

「チャート見る」⇒（きっとポジポジ病だから）「すぐ入る」

っていう工程を踏んでるはずなんだけど

そこで

「チャート見る」⇒エントリーしようとする

⇒そのエントリールールが直近チャートで10回くらい

検証して確率的に優位性があるか確認する

⇒エントリー

ってやるんですね。

すごいシンプルですよ。

差し込む工程は 「トレードする前に10回検証する」

だけです。

これはシステム組む人間からしたら「10回だと少ない」となる

んだけど、

ただ重要なのが

10トレードでもしたらすぐに 100回分は

検証がたまるわけです。

それで例えばひとつのトレードルールだけど

プライスアクションのトレードとしますが、

これも全部で私は検証してるわけじゃないけど

普通に確率優位性はあるトレードだけど

プライスアクションの

ピンバーやエンゴルフンバーを利用した

ダウ理論ベースのトレードがありますね。

ピンバーやエンゴルフンバー はネットで検索すれば

形状が出てくるはずだから 説明省きますが

このプライスアクションのかなりシンプルなトレードって

あります。

それで通常、ピンバーだけでトレードしてる人は

買いの場合、下ひげが実体の3倍以上はあるピンバーの

上値より上でエントリー、

ストップはピンバーの安値のちよい下

あたりにしてエントリーして

それであとはトレールで利益追う方法がありますが

これだけだと検証してるとわかりますが

場合によっては安定しないですよ。

だからそこで長期移動平均線75日とか

もしくはもう少し甘くて中期20日とか25日でもいいですけど

MAを使うっていう方法はありません、

一番 安パイなトレードですと

長期移動平均線75日がサポートなり、レジスタンスに

なって、

そこでピンバーなりエンゴルフインバーが形成されてる

ところではいる、ってのはありますね。

ちなみに買いのピンバー（下ひげのピンバー）だったら

下ひげが 「ちょうど」 MA にタッチして、それで

ピンバーが形成されてるチャートとかだったりです。

ここで下ひげがちょっと75日から突き抜けてたりすると

精度さがります。

それでまあ例えば上記のエントリールールで

75日 MA についてるピンバー、となると

数は相当絞られますけど、

ここで買いなら 安値下にストップ、で

それで利益確定はトレールですかね。

それでトレールのルールとしては

新しく ピンバーなりエンゴルフィンバーで

買いサインが更新して新しく出てきたら

都度、安値下に ストップを引き上げていくという

トレール方法とします。

もしくはダウ理論の考え方で

安値の次、高値を更新したら

直近安値にストップを移動するというのも

加えます。

それでストップと利益確定のルールはシンプルのほうが

いいけど

例えばこういうルールで検証をするわけですね。

こういうピンバーのエントリーチャンスってのは

何十通貨とか探してるとちよくちよく見つかるんですが

そういうときにいきなり入らないで

10回検証して、

「よし、優位性あるな」とわかったら

エントリーしてその10回の検証とおりに

追っていくってことですよ。

10回検証してまあ大丈夫だな、と確認して

それで入る。

これを毎回トレードごとにやっていると

例えば1週間に3回トレードする人なら

1ヶ月で120回の検証数はたまるんですね。

半年やれば700回以上の検証数はたまります。

いきなり100トレード検証しろといわれても

できないものですが

「エントリー前にそのルールで10回検証」

くらいならたぶんみんなできるんじゃないかなと

思います。

私なんかは長くそれやっていますが、

ほんとちょっとしか工夫でこうやって検証数って

どんどん増やせるんですね～

ちなみに10回検証していると大体なんだかんだ

時間は数分～10数分かかるので

やはり4時間足ベースの人の話ですよ。

15分足とかだとそれだと検証してる間に

形が時に結構変わってしまうわけです。

なので日足とか4時間足とかでやってる人なんかは

上記のような「エントリーする前に10回検証する」

ってのを取り入れてみると・・・

成績がまあまあよくなる、どころじゃなくて

「相当改善」される確率が高まりますね。

1回もやってない人と直近チャートで毎回10回

検証してエントリーしてる、お金大事にしてる人（けちともいえる）

だとやはりお金大事にしてる人が財産作ります。

だから今までは多くのきつとお金減ってる方は

「チャート見る⇒入る」だったと思いますが

そうじゃなくて

「チャート見る⇒入ろうかなと思ってその前に

10回検証してルールの優位性確認する

⇒入る」

と少し工程を見直すといいかもしれませんね。

たぶん今までいろいろノウハウコレクターで悩んでいた人は

これ取り入れて、ノウハウは特にいらないんだな

ってわかつちゃうかもしれません。

ルールは上に書いてますでしょ。

それで上に書いたルールでも十分利益出ると

思うんですが、それは検証したらわかるだろうけど

ただこれもすべての通貨とか時間足でやったわけじゃないから

それぞれの勝負する銘柄、通貨で

検証をエントリー前に10回くらいするとよいですが

(だるければ5回でもいいと思う、最初は)

ここでやはりそのルールが「微妙だな」というときも

相場だと出てくるんですね。

それは10回検証してると見えてきます。

そんなときはフィルターかけるんだけど

フィルターとしては

最初プライスアクションのルールがあつて

長期移動平均線75日タッチを加えましたが

そこに、またMACDのダイバージェンス出ているときにする、とか

エリオット波動の3波とC波に該当すると判断できるときに

するとか

ラインブレイク後のブレイク アンド フック アンド ゴー
(以前学んだリターンムーブ)

のときのピンバー、エンゴルフィンバーに絞るとか、

あとは買いならエリオット波動3波狙いの

逆ヘッドアンドショルダーの買いのときの

ピンバーとエンゴルフィンバーなど、

結構フィルターのかけ方は多くあるんですね。

だから10回検証して

「うーん、なんかこのルールは

いまいちだな、最近は。」

ってのが出てきたら少し上記のような

フィルタールールを加えるんだけど

その代わりに、サイン数は減りますよね。

けどこういう毎回のトレードごとの検証を繰り返すと

安定的に力はつくものですね。

個人的には株なんかでもこれ結構やってたりしますが

やっぱり統計にすべてはかなわないな、と思います。

ちなみに「なぜ10回なのか」というのもあって

5回でも0回検証でいきなりやるよりはいいんだけど

これはとある億トレーダーが言っていて

「10回トレードして負けてるなら何か絶対

問題あるからトレード中止すべき」

って昔言ってたんですね。

まあ実際に本当の天才トレーダーたちを見てると

10回でマイナス収益トレードになってる人って

あまりいなかったりします。

5回だと・・・たまにマイナスになってたりは

すると思います。

けど10回トレードでマイナスってやはりうまい人だと

あまりないんですね。

まあだから　トレード前の検証数は毎トレード、10回

するんです。

これだったら今まで

「めんどくさくて検証できないよ～」

って人でも10回くらいなら　慣れると数分で終わるから

できますね。

(ラインなりをかなり引いたりするトレード手法だと

それより少し時間がかかるので、

シンプルなプライスアクショントレードを
扱ってます)

本当は10回より100回やったほうがいいんですが

まあ10回でもこれが結構トレードの経歴が長くなると

検証回数が数千回、数万回以上になるから、

やっぱり統計データが相当たまってくるんですね。

これならきっと今まで

「FXやバイナリーや株の先生たちに

検証しろといわれていたけど、

やってなかったんです・・・」

って人でもできますよね？

トレードする前にちょっと10回だけ検証という

工程を入れるってのは

世界一のめんどくさがりやでさえ、

誰でもできるはず。

それでもめんどくさければ5回でもよいと思います。

慣れてきたら10回はすぐ数分で終わります。

(※スマホだとやりづらいからPCのほうがいいですね。

上記ルールでトレールあげるのは、外出先でスマホで

4時間に1度の確認でいいと

思います)

だからこんなちょっとした工夫だけで、

人生って変わるんですね～～

ちなみに私ゆうは

こういう 「勉強方法」とか「学習方法の工夫」

ってのは結構 考えるのが得意だと思ってまして、

これは小さいころ私は劣等生だったけど

勉強方法を子供なりに当時すごい考えて高校で早稲田入って

またその中でも高校の中で上位5%には入ってたけど

たぶん世の中って才能はあまりなくてですね、

結局「学習方法の工夫」ができるかどうか？なんだと

思いますよね。

私なんかは元々劣等生だからなおさらそういうのを

すごい当時考えたもので、

ひげ面おっさんになった今もそれが役立ってる。

投資も結局学習方法とか実践方法の

「ちょっとした工夫」がもっとも大事なんです。

んで上の「エントリー前に10回検証する」っていうと

結構単純なようで

FXや株の塾とかセミナーでは教えられていないこと

ですね。

FX や株の塾とかセミナーですと、まあトレードルールくらいは

教えてくれるけど、

みんなそれだと勝てないわけです。

(ルール逸脱するから。

が、ルールを守るのは大変難しいんですよ)

けど、これは不公平なことに、

それを教えてる講師さんはずっとそのトレードルールで

勝ってるものです。

なんて不公平。けどこれはなぜか？っていうと

その講師さんがそのトレードルールで自分で

検証やってるからですね。

んで中には1000回検証してる講師さんとかもいるんだけど

さすがにそれは私たちみたいな一般人ではできないから

スーパー努力家の天才しかできないから

「じゃあナマケモノの俺でも検証できる方法は？」

と考えるんです。

「自分＝相当だらしない、ナマケモノの

どうしようもないやつ」

という認識からスタートするんです。

私ゆうはまさにそれなんです。

尊敬されたい欲が私はないので、

私は素直にそういう自分の

欠点を書いたりします。

私は相当ナマケモノでどうしようもないやつなんですよ。

けどそんなやつもなんとか生きないといけないわけで

じゃあどうするか??って考える。

ただそういう認識からスタートして

「じゃあそういうナマケモノの自分に

どう検証させるか?」と

考えるんだけど

そんな人でも検証するのが癖、自然になってくるのが

上の

「エントリー前に10回検証する」

です。

これは脳科学も私は考えて編み出した習慣だけど

やっぱり強いな~といつも思いますね。

だから検証できていない人がきっと多数だろうから

そういう人は上の工夫と工程を取り入れてみてください、

一気にスキル上がると思われれます。

逆にそれである程度利益が積み重なってきたら

「ノウハウじゃなくて、検証をいかに

自分の生活に浸透させるか？を考えると自体が

もっとも カネに直結するのだ」

って体験でわかるでしょう。

ちなみにここで「トレードルールが守れない」

も改善されてくるんですね～

これはどういうことか？っていうと

毎回10回と少ないながらも検証してると

一応その トレードルール、手法の

確率優位性は理解できるので

ストップは入れられるし、

トレールはルールとおりにできるようになる、んです。

これは1トレードを近視眼で見る感じじゃなくて

10トレードでも検証してると

「この今の仕掛けはその中の1トレード」って

大きく考えられるので、

そこで視点の変化が生まれるんで、

そこでルール守れるようになってくるんですね。

これが人間の脳みその性質なんです。

逆に検証とか10回でもトレード前にやればいいのに

やらないと・・・

「ろうそく足に振り回される」んですね。

んで実際に、上の工程を導入してる人は100人に1人も

いないのですが

それはみんなそういう考え方を思いつかなかつたり

するから、です。

なぜ思いつかないか？というと検証する重要性を

認識してない人が結構多いからだ、と思います。

なぜ認識してない人が多いかというと

みんな「稼ぐ」ことばかりにフォーカスして

「負けないこと」を考えないからでして、

なぜそのような思考形態になるかというと

人間には欲望や焦りがあるからですね。

目が曇ってるとこういうアイデアが出てこないものですね。

逆に検証の重要性理解してる人は

トレード（投機）や投資の前に10回だけでもいいから検証して

優位性高めて資産を増やしてるわけですね。

ちなみに、上の方法で、ポジポジ病の人なんかは

それでも検証しないで入ってしまう人が多いでしょうが

入った後に検証でも最初はよいと思いますね。

10回でもエントリー後にそのルールで検証してたら

「まずい」ってわかって撤退できるでしょうから。

これ繰り返しているときっとポジポジ病も改善されていきますね。

ということで本当に単純な、シンプルなことなんだけど

そのシンプルなことを大多数の人はやっていないので

(上記のことをやってるのはきっと1%いない)

それに気づくと道は結構

安価に開きますね。

けど・・・証券会社とかは例えば

「トレードする前にそのトレードルールで

確率優位性があるか10回は最低でも検証しましょう」

とか言わないんですよ？

なんでかっていうと国内の場合は

顧客のトータル負けが営業利益だからですね。

「内のことを書いたら、

証券会社の商売にならないわけですね。

逆に手法探し求める人は 証券会社からしたら

カモネギでして、

この人たちはずっとお金を文字とおり

損失として落としていってくれる

わけですね。

一方一番嫌なのが毎トレードごとにルールを検証してくる

客でしょう。

カモにならないためにも検証はしたほうがよいですが

特にそれを浸透させるために

「トレード前にトレードルールを10回直近チャートで
検証」

はお勧めですね。

これで10トレードでもすれば100回検証は溜まりますので。

チリツモですね。

ということでちょっとしたことなんだけど

こんなちょっとしたことが人生変えてしまうのが

今の世の中なので、

検証を重視して、その上で

上記のような工夫で取り入れていくと

人生前に進むものですね～

では！

ゆう

追伸・・・ちなみに上記のようなことを書いても

みんな2ヶ月もすればやらなくなります。

また感情任せで資金投下するようになります。

なぜか？

っていうとこれは日々の生活で私たちは

欲望や焦りや恐怖に囲まれてるから、ですよ。

だから最近の金持ち投資家ってのはそれを理解してるから

稼いでも必要以上に散財しないで暮らしてたりします。

私に検証の重要性をこれでもか！って教えてくれたのが

神レベルトレーダーなんだけど数十億円稼いだ人だけど

彼なんかは大金持ちなのに家賃数万円の家

ご家族で住んでますね。

時々遊ぶけど見た目、単なるクラブにいる

いかついBボーイです。

(イメージがフリースタイルダンジョンに出てる感じ)

けど、そうやって過ごすことで欲望とかに支配されないから

楽なんです。

そして検証の重要性と向き合うマインドが作られる

ってことですかね。

では！